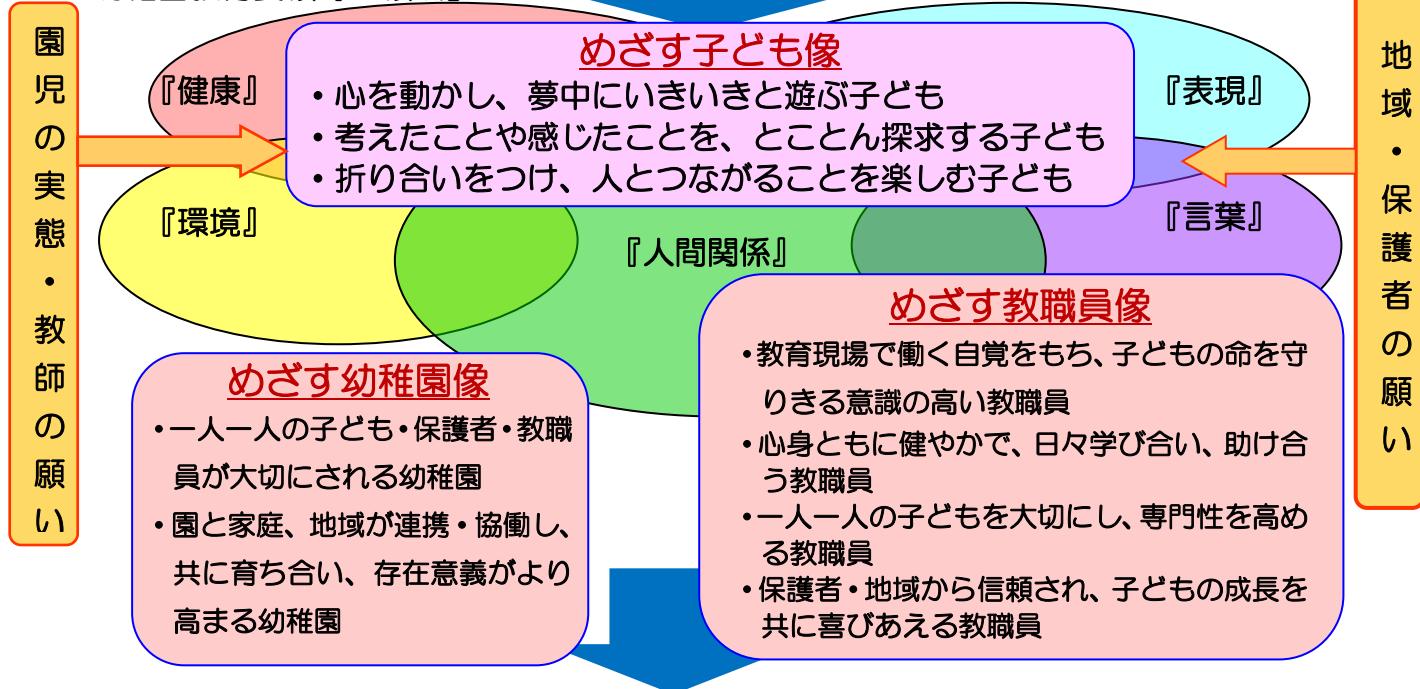


心豊かに たくましく 生きる子どもの育成

幼稚園教育要領『5領域』



経営方針

- 一人一人の子どもが教師との信頼関係を土台として、情緒の安定を図り、遊びや生活を通して自信をもつ経験を積み重ね、自己発揮する喜びを感じる指導を行う。
- 豊かな体験の中で、子どもの思いや教師の意図を明確にし、子どもがより主体的に活動したり、人とつながったりするための環境構成や教師の援助の在り方を研修し、保育の質を高める。
- キンダーカウンセラーや専門機関と連携しながら、個々の特性や、子どもや保護者の多様性を理解し、一人一人が自分らしさを発揮して、生活できるように支援する。
- 小中学校、保育所と交流や教員同士の研修を通して、子どもの育ちをつなぐ連携を進め、幼児教育の発信と互いの教育について理解を図る。
- 各自が勤務時間を意識し、自分の仕事に見通しがもてるようにし、行事や仕事内容の精選や分担など、効率よく業務が進められるようにする。
- 満3歳児「つぼみ組」の回数を増やし、教育相談「うさぎ組」内容の充実など、子育て支援事業の充実、児童館やはぐくみ室と連携等を図り、地域の子育て支援センターとしての役割を果たす。
- 学校運営協議会での関係者評価を活用し、教育活動の改善を図るとともに、地域の環境や人材を生かした取組を保育に取り入れ、豊かな経験ができるように努める。

具体的な取組

- 一人一人の人権が尊重された温かな学級経営
- PDCAサイクルを確立させた指導計画の作成
- 安心・安全な環境づくり
- 公開保育や研修会を通しての教員の資質向上
- 仕事内容の精選と効率化による働きがいと働きやすさの両立

保小中の連携

- 保育園児や小中学生との交流
- 教員同士の研修会の実施
- チャレンジ体験

家庭との連携

- PTAとの連携
- 家庭教育講座
- 学校評価

地域との連携

- 地域行事、園行事での交流
- 地域の人材活用
- 学校評価

学校運営協議会

- 園活動の参観
- 学校関係者評価
- 教育課程の基本方針の共有

未就園児の子育て支援事業

- 教育相談事業「うさぎ組」満3歳児つぼみ組
- 園庭開放